
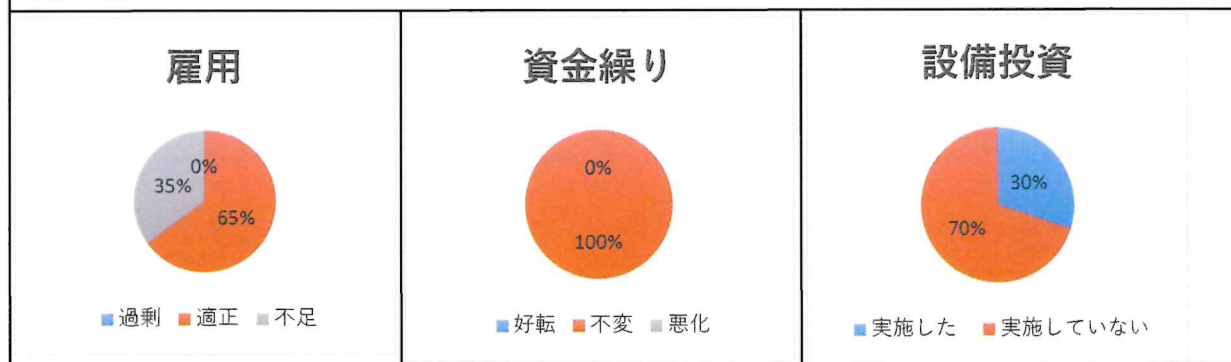


稲美町の経済の動き				第11号				
				発行月：令和6年1月 調査対象：令和5年10～12月				
《業況》				《採算》				業況
製造業		建設業		製造業		建設業		
良い	2	良い	0	黒字	3	黒字	0	前期  ↓ 今期 
普通	2	普通	4	収支トントン	1	収支トントン	4	
悪い	1	悪い	0	赤字	1	赤字	0	
小売業		サービス業		小売業		サービス業		
良い	1	良い	0	黒字	1	黒字	3	
普通	3	普通	6	収支トントン	4	収支トントン	2	
悪い	0	悪い	0	赤字	0	赤字	1	

### 【稲美町の今期の景況】

コロナやインフルエンザの影響、能登半島地震が発生するなど、社会情勢が不安定である。原材料価格の高止まり、人材の確保難、人件費の高騰等の問題が町内全体に広がっている。資金繰りについては安定しており、業況が「良い」と答えた企業が、「悪い」と答えた企業より多くなり、改善が兆しが見え始めた。



### 【兵庫県の景気動向】

兵庫県の景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに回復している。企業の業況判断は足もとは改善し、先行きは慎重な見方となっている。個人消費は回復に向けた動きが広がっている。輸出は増勢が鈍化している。設備投資は増加計画にある。生産は一部に弱い動きが見られるものの、全体としては横ばい傾向にある。有効求人倍率は前月上回った。雇用者所得は全体として改善の動きがみられる。倒産件数は前年を上回った。

### 【全国の景気動向】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

### 【今季の景況を踏まえた経営指導員のコメント】

町内では厳しい経済情勢が続いており、原材料仕入価格の高止まりや人手不足が影響している。商工会では、販路開拓を実施し売上拡大を目指す「小規模事業者持続化補助金」や思い切った業種転換を行う為の「事業再構築補助金」等の事業計画策定支援、運転・設備資金を確保する為の「マル経融資」等の金融支援策を実施しています。まずはお気軽にお電話ください。